令和７年度第２回富田林市交通会議
別紙３　資料説明原稿

議題１．レインボーバスの終日運行の検討について

資料１「レインボーバスの終日運行の検討について」をご覧ください。

（１ページ目）

１ページ目は目次でございます。目次に沿って順にご説明いたします。

（２ページ目）

金剛ふるさとバス東條線（以下「東條線」。）は、旧金剛バスの廃止に伴い、その代替として運行することとなった路線で、南海バス株式会社のご協力により、限られた乗務員数の範囲内（１日１２往復）で運行しておりますが、通学等、沿線住民の移動需要に対応するよう、富田林駅前～金剛連絡所前間で運行するレインボーバスの一部時間帯において、当該車両を活用して補完運行している状況です。

このたび、令和７年12月頃を目途に、東條線は南海バス株式会社による終日運行に統一されることで関係者間での調整ができましたことから、それまでレインボーバス車両を活用した補完運行の役目を終える予定となるため、富田林駅前～金剛連絡所前間のレインボーバスを終日運行にするものです。

（３ページ目）

レインボーバスの終日運行スケジュールについてです。

①金剛ふるさとバス東條線の補完運行終了のスケジュールとして、５月20日に開催された富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村地域公共交通活性化協議会（以下「広域協議会」。）において、南海バスによる東條線の終日運行の協議と並行して、概要説明とともに協議が行われ、６月の富田林市議会での予算措置、８月に廃止協議、９月以降の廃止届出を経て、12月頃に運行終了となる予定です。

②レインボーバスの終日運行スケジュールについては、今回の当書面会議において概要説明、６月の富田林市議会での予算措置、８月頃に運行協議、９月以降の届出を経て、12月頃（東條線における補完運行が運行廃止となった日の翌日から）に富田林駅前～金剛連絡所前間を運行するレインボーバスの終日運行とするものです。

なお、終日運行に伴うダイヤ、便数等については、次回以降の交通会議で協議

を予定しています。

ただし、上記スケジュールは、広域協議会、交通会議等の協議により、変更が生じる場合があります。その場合は、都度、当会議においてご報告いたします。

（4ページ目）

レインボーバスは、近鉄バス及び南海バスの各路線との輻輳や運賃格差等が課題となっており、これまで、レインボーバスのあり方検討分科会による運行内容等の検討を重ねてまいりました。その結果、令和５年９月１日より運行ルート、便数、運賃などの運行内容を見直しました。

しかしながら、旧金剛バスの廃止に伴い、一部の時間帯において金剛ふるさとバス東條線の補完運行することとなりました。

金剛ふるさとバス東條線の補完運行の終了により、令和７年12月頃にレインボーバスを終日運行する予定しております。

なお、レインボーバスについては未だ課題が残っていることから、そのあり方について、引き続き検討を行い、輻輳する既存のバス路線を中心とした持続可能な地域公共交通を目指していきます。

以上